

令和5年度第5回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録

日 時 令和6年3月28日（木）10:00～11:22

場 所 事務局第一会議室及びMicrosoft Teams 併用

出席者 [会議室] 坂井学長、黒川理事、柳澤理事、松田理事、中村理事、
佐々木委員、利根委員、萩原委員、平本委員、真下委員、山名委員
[Teams] 砂川委員

欠席者 市川理事、吉田委員

陪席者 [会議室] 山中監事、齋藤監事、田代副学長、川又副学長
[Teams] 川合副学長、木崎副学長、伊藤副学長、
井口人文社会科学研究科長、井原経済学部長、堀田教育学部長、
石井理工学研究科長、長澤理学部長、重原工学部長

- 学長から、吉田委員が本会議を欠席する旨報告があった。
- 令和5年度第4回議事要録の確認について（資料1）
令和5年度第4回国立大学法人埼玉大学経営協議会議事要録（案）の確認が行われ、承認された。

※各事項における意見等は次のとおり（☆学外委員、△学内委員等）

- 審議事項
 - 1 新役員の号給について
松田理事から、資料2に基づき、令和6年度から着任する新役員の号給について説明があり、審議の結果、承認された。
 - 2 令和6年度学内予算について
松田理事から、資料3に基づき、令和6年度学内予算について説明があり、審議の結果、承認された。
- ☆ 近年における入学料や授業料の推移はどのようになっているか。また、令和6年4月入学者の入学料収入については、令和5年度または令和6年度のいずれに計上されているか。
- △ 国立大学では、入学料及び授業料のそれぞれに標準額が定められていることに加え、入学定員が決まっていることから、これらの予算額については例年大きく変動していない。また、令和6年度入学者の入学料収入については、令和5年度収入に計上される。
- ☆ それ以外の予算に関してはどうか。

△ 収入面でいえば、第4期中期目標期間中においては、運営費交付金収入は基本的に変動せず、先ほど話したとおり、入学料や授業料もほぼ毎年同額となっている。一方で、諸物価の高騰や人件費の上昇により、支出が多くなっていることから、経営が苦しくなっているのが実情である。

☆ 収入を改善させるため、授業料の値上げは検討していないのか。

△ 国立大学の中にも値上げを行っている大学はあり、標準額の20%を上限に引き上げることができる。本学においても、経営状況を踏まえ、授業料等の改定を検討しなければならないと考えている。

3 目的積立金の使用について

松田理事から、資料4に基づき、目的積立金の使用について説明があり、審議の結果、承認された。

4 令和6事業年度長期借入金償還計画について

松田理事から、資料5に基づき、令和6事業年度長期借入金償還計画について説明があり、審議の結果、承認された。

5 令和7年度施設整備費補助金概算要求事業について

松田理事から、資料6に基づき、令和7年度施設整備費補助金概算要求事業について説明があり、審議の結果、承認された。

6 令和6年度計画について

川又副学長から、資料7に基づき、令和6年度計画について説明があり、審議の結果、承認された。

☆ 中期計画5-2に、オンラインによる海外協定校と連携した国際教育プログラムを実施する旨記載されている。すべての授業を英語で聴講できるようにするなど、海外の結びつきを強めている大学もあると聞くが、本学ではどうなのか。

△ 本学には、ダブル・ディグリー・プログラムという制度があり、令和5年度に初めての修了生を輩出した。このような国際化に向けた取組みを推進していきたいと考えている。

☆ 中学生・高校生女子が進学先を決める際、STEM教育を行っている学部等の女子生徒・女子学生の割合を参考としているが、本学においては、STEM教育を行っている学部への女子学生の入学割合の変化はどうなっているか。

△ 近年、理系を志望する女子生徒の推移としては増加傾向であることから、令和7年度から、工学部の入試区分に女子枠を導入し、女子学生比率を上昇させていきたいと考えている。

○ 報告事項

1 埼玉大学ダイバーシティ環境の社会実装と人材育成について

学長及び田代副学長から、資料8に基づき、ダイバーシティ環境の社会実装と人材育成に係る取組みについて説明があった。

☆ 新研究科設置の目的の一つとして、SDGsへの貢献というものがあるが、その先のSWGsを見据えたものとしてほしいし、また、政治分野に強い人材育成についても貢献してもらいたいと考える。また、質問として、独立研究科は予算の工面に難しさがあるが、その点をどのように考えているか。

△ 新研究科設置の目的に関しては、そのとおりであると思うので、指摘を踏まえたものとしていきたい。また、予算については今後検討していく予定である。

△ 予算だけの話ではないが、ダイバーシティ科学研究科のみを単体として考えるのではなく、本学のダイバーシティ推進全体の中にしっかりと位置づけて取り組んでいきたいと考えている。

(砂川委員が途中退席)

2 令和4事業年度における剰余金の繰越承認について

松田理事から、資料9に基づき、令和4事業年度における剰余金の繰越承認について報告があった。

3 令和5年度計画に基づく施設整備の自己評価について

松田理事から、資料10に基づき、令和5年度計画に基づく施設整備の自己評価について報告があった。

4 令和5年度大学機関別認証評価の評価結果について

川又副学長から、資料11に基づき、令和5年度に実施した大学機関別認証評価において、大学評価基準に適合しているとされた旨報告があった。

○ その他

1 埼玉大学の課外活動の現状と課題について

柳澤理事から、資料12に基づき、埼玉大学の課外活動の現状と課題について報告があった。

☆ スポーツをはじめとした課外活動というのは、卒業生の繋がりを強め、ひいては同窓会の強化をもたらすと思うので、この点も留意して取り組んでほしい。

△ 同窓会には、それぞれの学部の卒業生で構成されるものと、それらがまとまった大学全体のものとがあるが、活動の主体は、各学部の同窓会となっている。課外活動と

同窓会を結びつけるということまでは至っていないと思うので、今後検討していきたい。

2 次回日程（令和6年6月27日（木））

学長から、現在の学外委員は3月末をもって任期満了となることと、次年度からの学外委員就任予定者についての説明があった。また、次回日程の開催時刻については、改めて各委員のご都合を伺いたい旨の連絡があった。

以上